

農産物トップセールス 市の農産物をPR



7月13・14日、東京都内で田村市、郡山市、いわき市、三春町、小野町、JA福島さくらが農産物のトップセールスを行いました。

13日には市場関係者との意見交換会が開かれ、今後の方針や要望について意見を交わしました。市場関係者からは、「ピーマンは事故品がなく、安心して美味しい」、「暑い日が続くが、しっかりとした品質管理と出荷をお願いしたい」といった声が聞かれました。

14日に市場でいんげんとピーマンの試食会が行われた後、本田市長が田村市の農産物の魅力をPRしました。

地域おこし協力隊 おおるいひより 大類日和さんに委嘱状交付



7月20日、田村市初の地域おこし協力隊として、群馬県出身の大類日和さん(23歳)に、本田市長から委嘱状が交付されました。

大類さんは、「地域に密着した起業アイデアの発掘をしながら、自分が感じる地域の課題を見つけ、ウェブなどの自分が得意とするスキルを通じて、課題解決に最大限の効果を発揮したい」と述べました。

大類さんは、田村市テレワークセンター テラス石森を拠点に、「起業型地域おこし協力隊」として、地域の担い手確保や活性化のための活動を行います。

全国大会出場者激励会 ベストを尽くして優勝を目指す



7月24日、全国高等学校総合体育大会などに出場する選手の激励会が市役所で開かれました。

本田市長は出席者に激励金を手渡し、激励の言葉を述べました。激励金を受け取った出席者は、「全国大会では自分のプレーをし、ベストの記録を残したい」、「練習の成果を出し、優勝を目指す」と、大会に向けて抱負を述べました。

BEMフェスティバル 移地区でおしゃれなイベント



8月5日、船引町アニマルフォレストうつつの森で「BEM～バーターフェスティバル バイマンパワー」が開かれました。このイベントは、「おすそわけの文化」をテーマに、ファッションデザイナーなど東京の有志で組織されるBEM製作実行委員会が主催しました。音楽ライブやお笑いステージに、東京からバスで来場した人たちも楽しんでいました。

参加した地元の方は、「山の中でもこんなおしゃれなことができるのはすごい」と話し、都会の人々と交流を深めました。

少年の主張大会 明日へきらめく言葉のチカラ

8月5日、「平成30年度 田村市少年の主張大会」が市文化センターで開かれ、各地区・学校の小学生6人・中学生6人が、社会に向けた意見や未来への希望、家庭・学校・地域などで日頃から心に思い描いていることを堂々と発表しました。

小学生の部では、吉田遥菜さん(船引南小6年 写真上)が応援団の係での実体験から考えた応援することの意味について発表し、最優秀賞に選ばれました。中学生の部では、吉田実来さん(滝根中3年 写真下)が医療体験から考えた人の命について発表し、最優秀賞に選ばれました。大会の結果は次のとおりです。(敬称略)

【小学生の部】

- 最優秀賞…吉田遥菜「応援は人を想う気持ちから」
- 優秀賞…早川幸那(関本小6年)、渡邊榊夏(滝根小6年)
- 優良賞…吉田好花(都路小6年)、渡邊海星(芦沢小6年)、柳沼和樹(大越小6年)

【中学生の部】

- 最優秀賞…吉田実来「だから私たちは生きている」
- 優秀賞…大越麻央(船引南中3年)、新田遼(大越中3年)
- 優良賞…加藤稜大(都路中3年)、伊藤結子(常葉中3年)、齊藤日和(船引中3年)



都路お楽しみサロン 楽しみながら頭の体操を

7月26日、都路元気な地域づくりの会主催「都路お楽しみサロン」が開かれ、54人が参加しました。

参加者は、都路診療所の渡辺看護師長から「ボケない生き方」と題した講話を聴いた後、早口言葉や計算、漢字の書き取りなど、頭の体操を楽しみました。



常葉・滝根 高齢者学級 旧堀切邸とヤクルト工場を見学

7月19日に常葉の高齢者学級「寿学級」の第2回学習会が行われ、18人が参加しました。

7月20日には滝根の高齢者学級「あぶくま大学」の第3回学習会が行われ、53人が参加しました。(写真)

いずれも(株)ヤクルト本社福島工場(福島市)と旧堀切邸(同)を見学しました。ヤクルトの工場ではヤクルトの製造過程を見学、旧堀切邸では近代国家に尽くした堀切家について学習しました。

